

授業科目名称 : ホスピタリティ演習 I (実践的教育科目) 授業コード : 34604

授業科目英文名称 : Hospitality I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	0.5	必修
担当教員			
神田 紘介*、藤田 英明、西奥 剛、藤本 京子、吉田 達貞 (*実務経験のある教員)			
展開方法	演習		
ナンバリング	N4A201		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力			
情報収集、分析力			
コミュニケーション力	医療人の役割について体験し、自ら学ぶことができるようになる。	質問・態度 プレゼンテーション レポート	15% 5% 20%
協働・課題解決力	チーム医療における他の医療職との連携・役割分担について関心を持てるようになる。	態度 プレゼンテーション レポート	5% 5% 20%
多様性理解力	チーム医療における他の医療職と薬剤師の役割の違いについて、体験し理解する。	態度 プレゼンテーション レポート	5% 5% 20%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	「ホスピタリティ演習 I」は、「臨床体験学習」を主体としたヒューマンズ教育を行う科目である。1年次の「早期体験学習」をベースに、医療現場での体験学習を通じて、医療人としての心構えを学ぶと共に、学習へのモチベーション向上を目指す。					
アクティブラーニングの類型	②⑦					
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	「臨床体験学習」は原則参加することが必須であり、リハビリテーション病院での体験について、各グループでSGDを行い、プレゼンテーションを行う。評価は、SGDにおける積極的な議論への参加 (15%)、質問内容・態度 (10%)、プレゼンテーション (15%)、レポート (60%) で実施する。プレゼンテーション・レポート評価の評価指標 (ルーブリック) は別途配布する。プレゼンテーションやレポートについては、授業内やポートフォリオでフィードバックを行う。					
授業概要	「臨床体験学習」は長崎市にあるリハビリテーション病院において、実際の医療現場を見学・体験する。病院薬剤師として実務経験を有する経験豊富な教員が、その経験を活かし、事前学習、SGD、及びプレゼンテーションの準備と実施を主導する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。					
教科書・参考書・指定図書	教科書：配布プリント等 参考書：なし 指定図書：「薬学生dead or alive—薬学生、成功への鍵は…」 (京都廣川書店)					
授業外における学修及び学生に期待すること	「臨床体験学習」は実際の医療現場を体験するため、薬剤師が他者 (患者・医師・理学療法士など) とどのような関わりをするのかについて考えて欲しい。また、自分が将来どのような薬剤師になるかについて、思いを馳せて欲しい。					
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号	担当教員
	1	臨床体験学習 1	事前学習を行い、リハビリテーション病院での体験を行う目的について、各グループでSGDを行い、明確にする。(2コマ)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54 B-1-1, B-1-2, B-1-3, B-2-1, B-2-2, F-2-1	神田・藤田・西奥・藤本・吉田

	2	臨床体験学習2	リハビリテーション病院で医療現場を体験する。(2コマ)	配布資料を熟読して体験学習の目的について予習する。	47, 48, 51, 54 B-1-1, B-1-2, B-1-3, B-2-1, B-2-2, F-2-1	神田・藤田・西奥・藤本・吉田
	3	臨床体験学習3	リハビリテーション病院での体験について、各グループでSGDを行い、プレゼンテーションの準備を行う。(2コマ)	体験学習した内容について復習する。	54 B-1-1, B-1-2, B-1-3, B-2-1, B-2-2, F-2-1	神田・藤田・西奥・藤本・吉田
	4	臨床体験学習4	リハビリテーション病院での体験について、各グループでプレゼンテーションを行う。(2コマ)	他のグループのプレゼンテーションの内容について復習する。	54 B-1-1, B-1-2, B-1-3, B-2-1, B-2-2, F-2-1	神田・藤田・西奥・藤本・吉田
		★注意事項	注) 上記の第1回～第4回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。 * 到達目標番号と到達目標の対応は、大学HP掲載のコアカリSBO番号/項目対応表を参照して下さい。			